

大学と地域社会の交流に関する調査

調査の趣旨とご協力をお願い

わたくしども「大学・地域交流研究会」では、文部省科学研究費（基礎研究（A））の交付を受け、大学と地域社会との関係について総合的な研究をすすめております。

1991年の設置基準改訂を機に本格化した一連の改革の動きの中で、大学と社会との交流のありかたが問われていることはご承知のとおりです。大学はいま、大きな転換期を迎え、教育・研究の双方について地域社会との関係のあり方を問われ、新しい交流のカタチの模索が進められています。なかでも、新潟県では、近年、地域及び産業界から大学との交流に対して多様な期待と要請が寄せられております。

その交流の一端は、いわゆる「自己点検・評価報告書」などからもうかがうことができます。しかし、多様な交流の実態をとらえ、今後の方向を探るためには、直接先生方のご意見をうかがうことが不可欠と考え、このアンケートを企画しました。調査を通して、大学の将来や、地域との交流のあり方を考える上での重要な手がかりが得られることを願っています。

調査は、学術的な研究の一環として行うものであり、得られたデータはすべて統計的に処理し、先生方にご迷惑をおかけすることはありません。ご多忙中、大変恐縮に存じますが、調査に趣旨をご理解いただき、ご協力下さるようお願い申し上げます。

回答は11月30日までに、同封の封筒により切手を貼らずにそのままお寄せ下さい。

<大学・地域交流研究会>

天野郁夫（国立学校財務センター）、藤村正司（新潟大学）、小林雅之（放送大学）
吉田 文（メディア教育開発センター）、溝上智恵子（長岡技術科学大学）

研究代表・天野郁夫（国立学校財務センター教授）

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-12 Tel:043-274-3801, Fax:043-274-4082

事務局・吉田 文（メディア教育開発センター一助教授）

Tel: 043-298-3209, Fax: 043-298-3484, E-mail: aya@nime.ac.jp

<調査の問い合わせ>

藤村正司（新潟大学教育人間科学部助教授）

〒950-2181 新潟市五十嵐2の町18050

TEL: 025-262-7137, FAX: 025-262-7122, E-mail: fujimura@ed.niigata-u.ac.jp

まず、先生が現在所属しておられる大学と地域社会との関係についてお聞きします。

問1 先生からご覧になって、所属しておられる大学はどんな大学だと思われませんか。以下それぞれについて、当てはまる番号に○をつけて下さい。

	おおいに あてはま る	やや あてはま る	あまり あてはま らない	全く あてはま らない
A. 教員は地域によく貢献している	1	2	3	4
B. 卒業生は地域の各界の第一線で活躍している	1	2	3	4
C. 優れた学生が各地から集まってきている	1	2	3	4
D. 全国的に見て教育の充実した大学である	1	2	3	4
E. 研究のレベルは全国的にみて高い方である	1	2	3	4

問2 先生の所属しておられる大学は、地域的にどのような範囲で貢献している大学だと思われますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	おおいに 貢献して いる	やや 貢献して いる	あまり 貢献して いない	全く 貢献して いない
A. 上越地方に	1	2	3	4
B. 中越（県央）地方に	1	2	3	4
C. 下越地方に	1	2	3	4
D. 新潟県に	1	2	3	4
E. 関東甲信越地方に	1	2	3	4
F. 環日本海地域に	1	2	3	4
G. 全国的に	1	2	3	4
F. 国際的に	1	2	3	4

問3 先生の所属されておられる大学の地域社会への貢献について (イ) 現状をどう評価されますか。(ロ) 将来のあり方について、どのようにお考えですか。(イ) (ロ) について、それぞれあてはまる番号に○をつけて下さい。

	(イ) 現 状			(ロ) 将来のあり方		
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	もっとも貢献すべき	現状のままでよい	あまり貢献しなくてよい
(1)地域の教育機会						
A. 地域の高校生の進学機会として	1	2	3	1	2	3
B. 地域で活躍する人材の養成に	1	2	3	1	2	3
C. 職業人の再教育に	1	2	3	1	2	3

(2)地域の文化・教育

D. 地域住民の教養の向上に	1	2	3	4	1	2	3
E. 地域の文化の振興に	1	2	3	4	1	2	3
F. 地域の教育機関の活性化に	1	2	3	4	1	2	3
G. 地域おける国際交流に	1	2	3	4	1	2	3

(3)地域の行政・経済・福祉

H. 地域の政界・行政に	1	2	3	4	1	2	3
I. 地域の企業・産業界に	1	2	3	4	1	2	3
J. 地域の保健・医療・福祉に	1	2	3	4	1	2	3
K. 市民団体・ボランティアに	1	2	3	4	1	2	3

問4 先生の所属しておられる大学の教育・研究の発展という面からみて、大学が所在する地域社会の特質を、先生はどのようにお考えですか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

	十分である	やや十分である	不十分である	どちらともいえない
A. 都市の規模	1	2	3	4
B. 交通の便	1	2	3	4
C. 自然環境	1	2	3	4
D. 文化的環境	1	2	3	4
E. 高等教育機関の数や配置	1	2	3	4
F. 地域内での学術・研究活動	1	2	3	4
G. 卒業生の雇用機会	1	2	3	4
H. 地域の人々の大学への期待感	1	2	3	4
I. 地域のまとまりや連帯性	1	2	3	4
J. 産官学の連携	1	2	3	4

問5 先生の所属しておられる大学への地域からの協力体制を、どう評価されますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

	とても協力的である	やや協力的である	あまり協力的でない	全く協力的でない	分からない
A. 地方自治体や地域の政界	1	2	3	4	5
B. 地域の企業・産業界	1	2	3	4	5
C. 地域の教育界	1	2	3	4	5
D. 地域の保健・医療・福祉団体	1	2	3	4	5
E. 地域の文化・芸術・マスコミ	1	2	3	4	5
F. 市民団体・ボランティア団体	1	2	3	4	5

つぎに、先生ご自身のご経験について、お聞きします。

問6 先生は、過去一年間に県内・県外にある次のような機関・団体から協力を要請されたことはありますか。それぞれについて、あてはまる番号すべてに○をつけて下さい。

	要請に協力した		要請はあつたが協力しなかつた	要請はなかつた
	県内	県外		
A. 市町村の行政	1	2	3	4
B. 県の行政・国等の行政	1	2	3	4
C. 教育機関・研究機関	1	2	3	4
D. 企業・経済団体	1	2	3	4
E. 保健・医療・福祉の団体	1	2	3	4
F. 文化・芸術団体、マスコミ	1	2	3	4
G. 市民団体、ボランティア団体	1	2	3	4

<問6のA～Cについて、1または2に○をつけた方は、以下の間に答え下さい。>

問6SQ お答えになった行政や企業からの協力要請は、主にどのような仕事でしたか。また、主にどのようなルートを通してのものでしたか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

	主に大学の組織を通して		主に個人のルートで	両者が同じ程度
	1	2		
(行政からの依頼)				
A. 審議会や委員会の委員・助言者など	1	2	3	
B. 研究の依頼や報告書・資料の作成など	1	2	3	
C. 講演会・講習会の講演者・講師など	1	2	3	
(企業からの依頼)				
D. コンサルタントや研修会の講師など	1	2	3	
E. 共同研究や委託研究など	1	2	3	
F. 研究員や研修生の受入など	1	2	3	

問7 過去一年間に、大学やそれ以外が実施している地域との交流・大学開放の事業に参加されたことがありますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。また、具体的に事業の名称と内容をお答え下さい。

	それぞれの実施している活動に参加した	それぞれの実施している活動に参加していない	それ以外の具体的な事業の名称と内容をいくつでもお答え下さい。
1			
2			
3			

問8 先生は、地域のもっている次のような資源を教育・研究面で、どの程度利用しておられますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

	教育面で				研究面で			
	おおいに利用している	やや利用している	あまり利用していない	全く利用していない	おおいに利用している	やや利用している	あまり利用していない	全く利用していない
A. 自治体・企業、学校などの施設・設備	1	2	3	4	1	2	3	4
B. 地域の人材	1	2	3	4	1	2	3	4
C. 地域の資料や情報	1	2	3	4	1	2	3	4
D. 自治体や企業などの資金	1	2	3	4	1	2	3	4
E. 地域の自然・社会環境	1	2	3	4	1	2	3	4

問9 地域との交流は、先生ご自身にとってどのような意味があるとお考えですか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	あてはまらない
A. 自分の研究によい刺激がある	1	2	3	4
B. 学生の教育や指導面の効果が大きい	1	2	3	4
C. 学生の就職市場を開拓できる	1	2	3	4
D. 研究費を獲得できる	1	2	3	4
E. 経済的な報酬や社会的な知名度が得られる	1	2	3	4
F. 地域社会に貢献できる	1	2	3	4
G. 専門以外の自分の能力を生かしたい	1	2	3	4

問10 今後、地域からの協力要請があった場合、先生はどのように対応しようとお考えですか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。

	積極的に応じたい	内容によって応じたい	原則として応じたくない
A. 市町村の行政	1	2	3
B. 県や国の行政	1	2	3
C. 企業・経済団体	1	2	3
D. 教育機関・研究機関	1	2	3
E. 保健・医療・福祉の団体	1	2	3
F. 文化・芸術団体・マスコミ	1	2	3
G. 市民団体・ボランティア団体	1	2	3

問11 地域との交流を深める上で、大学の側にはどのような障害があると、先生はお考えですか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	何ともいえない
A. 社会的サービスが業績として評価されない	1	2	3	4
B. 教育・研究で忙しくて時間がとれない	1	2	3	4
C. 大学に地域交流のビジョンがない	1	2	3	4
D. 大学と地域との交流を担当する窓口がない	1	2	3	4
E. 地域との交流のノウハウが大学側に欠けている	1	2	3	4
F. 地域交流をする具体的な必要性に乏しい	1	2	3	4
G. 地域のニーズに応えるような研究が大学に少ない	1	2	3	4
H. 職務専念規定があるため学外サービスがしにくい	1	2	3	4
I. 社会サービスに対する教員側の理解度が充分でない	1	2	3	4

問12 地域との交流を深める上で、地域の側にはどのような障害があると、先生はお考えですか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	何ともいえない
A. 大学の社会的サービスに対する地域からの評価・報酬が低い	1	2	3	4
B. 人的なネットワークが閉鎖的で、特定の人に偏っている	1	2	3	4
C. 地域の側が、地元の大学との交流より、中央の方を向いている	1	2	3	4
D. 大学との交流のためのコーディネート機能が、地域の側に欠けている	1	2	3	4
E. 大学との交流をするためのノウハウが、地域の側に欠けている	1	2	3	4
F. 地域の側に大学との交流をする具体的な必要性に乏しい	1	2	3	4
G. 大学の研究を活用できるような企業が地域に少ない	1	2	3	4
H. 地域の側から大学が敬遠される傾向がある	1	2	3	4
I. 地域からの情報が、オープンではない	1	2	3	4

**これからの質問は、先生が所属しておられる大学だけでなく、
大学一般の今後のあり方についてお聞きします。**

問13 大学のあり方に関する以下のそれぞれの項目について、先生のお考えに近い番号に○をつけて下さい。

(1) 大学の人材養成について

A. 地域の発展に役立つ人材の養成を第一に考えるべきだ

Aに賛成 どちらかと
いえば Bに賛成
1 2 3 4

B. 地域を越えて活躍する人材の養成を第一とすべきだ

(2) 大学の教育について

A. 地域と交流して、実践的な教育の充実をはかるべきだ

Aに賛成 どちらかと
いえば Bに賛成
1 2 3 4

B. 地域とはかわりなく、大学独自の理念にたった教育をすべきだ

(3) 大学の研究について

A. 地域との交流を持ち持ちながら新たな時代の学問の発展をはかるべきだ

Aに賛成 どちらかと
いえば Bに賛成
1 2 3 4

B. 地域社会にとらわれない学問を発展させるべきだ

(4) 大学の社会的サービスについて

A. 地域社会のニーズに応じて、大学は積極的にサービスを提供すべきだ

Aに賛成 どちらかと
いえば Bに賛成
1 2 3 4

B. 地域社会へのサービスよりも、大学は教育・研究に専念すべきだ

(5) 大学と企業との関係について

A. 企業との共同研究や受託研究、人的交流を積極的に行うべきだ

Aに賛成 どちらかと
いえば Bに賛成
1 2 3 4

B. 営利が目的となる企業との、積極的な交流は避けるべきだ

(6) 大学教員と地域社会との交流について

A. 学問的な発展のためにも、教員は積極的に地域と交流すべきだ

Aに賛成 どちらかと
いえば Bに賛成
1 2 3 4

B. 本来の教育・研究に力を注ぐためにも、教員は地域との交流は極力避けるべきだ

問14 大学と地域社会との関係について、先生は以下のような考え方をどう思われますか。それぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

	おおいに賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	おおいに反対
A. 地域住民子弟の入学のための優先枠を設ける	1	2	3	4
B. 学生を企業や自治体などで実習させるインターン制度を設ける	1	2	3	4
C. 県、市の資金が大学に受け入れられるような制度を設ける	1	2	3	4
D. 地域代表が大学の運営に参加することができようような制度を設ける	1	2	3	4
E. 地域に関する研究センターや交流手続きについての情報提供を促進する	1	2	3	4
F. 産学官の連携による共同研究事業を推進するためテクノノタンクなどを設ける	1	2	3	4
G. 地域の課題に対応するためのネットワークづくり(例;にいがた学会)をすすめる	1	2	3	4
H. 大学間の連携を進め、たとえば、各大学が協力して公開講座を開く	1	2	3	4

問15 今後、大学のあり方を議論するとき、先生ご自身は、どのような観点を重視すべきだと思いますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけて下さい。

	とても重要である	やや重要である	あまり重要でない
A. 低所得者層への教育機会の提供	1	2	3
B. 地域への教育機会の提供	1	2	3
C. 社会の指導的な人材の養成	1	2	3
D. 研究者の安定的な供給	1	2	3
E. 高度な先端的研究の推進	1	2	3
F. 資金の得にくい分野の研究の推進	1	2	3
G. 教職員の身分保障	1	2	3
H. 事務組織等の効率的運営	1	2	3
I. 大学間での役割分担	1	2	3
J. 単位互換制など履修形態の柔軟化	1	2	3
K. 大学間の協力による連合大学院の設置	1	2	3
L. マルチメディア利用による遠隔授業の整備	1	2	3
M. 学生の就職指導	1	2	3
N. 外国人留学生の受入れなど国際化への対応	1	2	3

最後に、先生ご自身についてお聞きします

問16 先生のごこれまでのご経歴を教えてください。

(1) 現在、所属しておられる大学での通算在職年数は

1	5年未満	2	5～10年未満	3	10～15年未満	4	15～20年未満	5	20年以上
---	------	---	---------	---	----------	---	----------	---	-------

(2) ご出身の高校は、所属大学の所在県に

1	ある	1	ない
---	----	---	----

(3) 所属大学以外での勤務経歴は

A. 他の大学・短大での勤務経歴が

B. 大学以外の機関での勤務経歴が

1	ある	2	ない
1	ある	2	ない

(3) B. SQ 大学以外の機関での勤務経歴が「ある」と答えた方にお聞きします。

それは以下のどれに当てはまりますか。お差し支えない範囲でお答えください。

1	官公庁（研究所を含む）	3	報道機関
2	民間企業（研究所を含む）	4	その他（ ）

(4) 現在の居住地は次のどれですか。

1	新潟県内に家族と居住	3	授業と会議に時のみ新潟県内に宿泊
2	新潟県内に単身赴任	4	その他（ ）

問17 先生の職名・専門分野・年齢をご記入下さい。あてはまる番号に○をつけて下さい。

A. 職名

1	教授	2	助教授	2	講師
---	----	---	-----	---	----

B. 専門分野

1	人文科学系(語学を含む)	7	医学・歯学・薬学系
2	社会科学系	8	保健・健康科学系
3	教育学系	9	芸術系
4	理学系	10	その他(具体的に；
5	工学系		
6	農学系		

C. 年齢

1	29歳以下	2	30～39歳	3	40～49歳
4	50～59歳	5	60歳以上		

最後に、地域社会と大学との交流について、ご自由に先生の率直なご意見をお聞かせ下さい。

質問は以上です。どうもありがとうございました。

県と大学との交流に関する調査

調査の主旨とご協力をお願い

わたくしども「大学・地域交流研究会」では、文部省科学研究費[基盤研究(A)]の交付を受け、大学と地域社会との交流について総合的な研究をすすめております。高等教育の大きな転換期にあたって、全国の大学はそれぞれに地域社会との交流の新しい形を模索しはじめています。なかでも、新潟県では、近年、公私協力型私学の設立や「にいがたがたちづくり学会」の創設と相まって、地域及び産業界から大学との交流に対して多様な期待と要請が寄せられています。

その交流の一端を探るため、わたくしどもはこれまで県内大学教員、及び県内有識者を対象とした調査を実施して参りました。しかし、多様な交流の実態を総合的に捉え、今後の方向を探るには、県の関係課のご意見をうかがうことが不可欠と考え、このアンケート調査を企画しました。この調査では、「**県と大学との交流**」の現状や今後のあり方について、貴課のご意見をいただきたいと考えております。

調査は学術的な研究の一環として行うものであり、お寄せいただいたご意見は、すべて統計的に処理し、個々のデータが外部に公表されることはありません。ご多忙中、大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さるよう、何とぞ宜しくお願い申し上げます。

回答は、2月末日までに、同封の封筒により、切手を貼らずにそのままお寄せ下さい。

<大学・地域交流研究会>

天野郁夫(国立学校財務センター), 藤村正司(新潟大学), 小林雅之(放送大学), 吉田文(メディア教育開発センター), 溝上智恵子(長岡技術科学大学)

研究代表・天野郁夫(国立学校財務センター教授)

〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-12 Tel: 043-274-3801, Fax: 043-274-4032

事務局・吉田文(メディア教育開発センター助教授)

Tel: 043-298-3209, Fax: 043-298-3484, E-mail: aya@nime.ac.jp

<調査の問い合わせ>

藤村正司(新潟大学教育人間科学部助教授)

〒950-2181 新潟市五十嵐2の町8050番地

Tel: 025-262-7137, Fax: 025-262-7122, E-mail: fujimura@ed.niigata-u.ac.jp

1. はじめに、県内の大学と貴課との関わりについてお聞きします。

問1. 貴課では、業務内容について日常的に県内の大学教員に相談にのってもらっていますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない

問2. 貴課では、主にどのようなルートで大学教員に連携協力の依頼をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

1. 個人的にお願いする 2. 教授の推薦による 3. 大学の窓口で紹介してもらう
4. その他(具体的に: _____)

問3. 貴課は、この1年間に、以下の目的で県内の国立大学の施設の活用を要望しましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけて下さい。

A. イベントの開催で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった
B. 施設開放で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった
C. 共同研究で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった

問4. 貴課は、この1年間に、以下の目的で県内の私立大学の施設の活用を要望しましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけて下さい。

A. イベントの開催で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった
B. 施設開放で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった
C. 共同研究で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった

問5. 貴課は、この1年間に、以下のような件で、県内の大学から協力の要請を受けたことがありましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	新潟大学から	長岡技術科学大学から	上越教育大学から	県内の私立大学から
A. シンポジウム・研究会・講義等の講師・パネラーとして	1	2	3	4
B. 県内の各種委員会等の委員として	1	2	3	4
C. 専門的な知識や情報の提供	1	2	3	4
D. 研究助成などの資金の提供	1	2	3	4
E. 大学関係者が開催する会議・研究会への参加	1	2	3	4

II. 地域社会と県内の大学の関わりについてお聞きします。

問6. 県内の3つの国立大学は、地域的に(イ)どのような範囲に貢献している大学だと思われませんか。また、(ロ)将来はどのような範囲への貢献を期待しますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 新潟大学	(イ) 現 状					(ロ) 将来のあり方				
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	分からない	もつと貢献すべき	現状のまま	あまり貢献しなくてよい	分からぬ	何ともいえない
A. 貴課の所在する地域に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
B. 新潟県に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
C. 全国的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
D. 国際的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4

(2) 長岡技術科学大学	(イ) 現 状					(ロ) 将来のあり方				
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	分からない	もつと貢献すべき	現状のまま	あまり貢献しなくてよい	分からぬ	何ともいえない
A. 貴課の所在する地域に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
B. 新潟県に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
C. 全国的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
D. 国際的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4

(3) 上越教育大学

(3) 上越教育大学	(イ) 現 状					(ロ) 将来のあり方				
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	分からない	もつと貢献すべき	現状のまま	あまり貢献しなくてよい	分からぬ	何ともいえない
A. 貴課の所在する地域に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
B. 新潟県に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
C. 全国的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
D. 国際的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4

問7. 県と県内の大学とが交流を深めていく上で、大学・県・国の側によりの障壁があるとお考えですか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

(1) 国立大学の側にある障壁	(イ) 現 状					(ロ) 将来のあり方				
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	分からない	もつと貢献すべき	現状のまま	あまり貢献しなくてよい	分からぬ	何ともいえない
A. 大学に地域交流のビジョンが十分でない	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
B. 地域との交流をするためのノウハウが、大学の側に欠けている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
C. 教員は地域交流への関心が低く、その必要性がないと思っっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
D. 地域のニーズに応えるような研究が大学に少ない	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
E. 教員スタッフ、及び、教員の研究分野・研究課題が周知されていない	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4
F. 企業などから見て、大学は敷居が高いと思われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	4

問8. 貴課は、県内の国立大学との交流に関して、現行の制度に拘わらず、将来どのようなことを期待しておられますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	おおいに期待している	やや期待している	あまり期待しない	全く期待しない
A. 地域住民子弟の入学のための優先枠を設ける	1	2	3	4
B. 学生を企業や地方自治体などで実習させる制度を設ける	1	2	3	4
C. 地方自治体の資金を大学が受け入れられるような制度を設ける	1	2	3	4
D. 大学の施設を地域住民に広く開放する	1	2	3	4
E. 大学の情報を広く開示する	1	2	3	4
F. 地域代表が大学の運営に参加できるような制度を設ける	1	2	3	4

問9. 貴課は、県内の私立大学との交流に関して、現行の制度に拘わらず、将来どのようなことを期待しておられますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	おおいに期待している	やや期待している	あまり期待しない	全く期待しない
A. 地域住民子弟の入学のための優先枠を設ける	1	2	3	4
B. 学生を企業や地方自治体などで実習させる制度を設ける	1	2	3	4
C. 地方自治体の資金を大学が受け入れられるような制度を設ける	1	2	3	4
D. 大学の施設を地域住民に広く開放する	1	2	3	4
E. 大学の情報を広く開示する	1	2	3	4
F. 地域代表が大学の運営に参加できるような制度を設ける	1	2	3	4

(2) 私立大学の側にある障害

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	何ともいえない
A. 大学に地域交流のビジョンが十分でない	1	2	3	4
B. 地域との交流をするためのノウハウが、大学の側に欠けている	1	2	3	4
C. 教員は地域交流への関心が低く、その必要性がないと思っている	1	2	3	4
D. 地域のニーズに応えるような研究が大学に少ない	1	2	3	4
E. 教員スタッフ、及び、教員の研究分野・研究課題が周知されていない	1	2	3	4
F. 企業などから見て、大学は敷居が高いと思われている	1	2	3	4

(3) 県の側にある障害

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	何ともいえない
A. 地域の側に大学との交流のビジョンが十分ではない	1	2	3	4
B. 大学との交流をするためのノウハウが、地域の側に欠けている	1	2	3	4
C. 地域の側が、地元大学より中央の大学との交流を望んでいる	1	2	3	4
D. 大学の研究成果を活かせるようなネットワークが地域に少ない	1	2	3	4

(4) 国の側（文部省、自治省など）の障害

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	何ともいえない
A. 地方の活性化・地域間格差の是正が十分ではない	1	2	3	4
B. 地方に見合った学部・学科の増設・新設が十分ではない	1	2	3	4
C. 委託研究により生ずる私的所有権の取り扱いについて、現行では委託側の権利が制限されている	1	2	3	4
D. 開かれた大学としての啓発・普及が、大学に対して十分ではない	1	2	3	4
E. 交流のための予算措置や促進のための施策や啓発・奨励が十分ではない	1	2	3	4

問10. 貴課は、次のような役割を主にどの大学に期待していますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	主に新潟大学	主に長岡技術科学大学	主に上越教育大学	主に最寄りの私立大学	主に県外の大学	どれでもない
A. 県・市行政の審議会等の委員	1	2	3	4	5	6
B. 行政や企業との共同研究・開発	1	2	3	4	5	6
C. 地元企業への技術・情報サービス	1	2	3	4	5	6
D. 施設・設備・情報の市民への開放	1	2	3	4	5	6
E. 市民対象の公開講座等の開催	1	2	3	4	5	6
F. 職業人のための短期研修	1	2	3	4	5	6

Ⅲ. 次に、県内の国立大学の今後のあり方についてお聞きします。

問11. 県内の国立大学のあり方に関する以下それぞれのAとBの意見について、貴課のお考えに最も近い番号1つに○をつけてください。

(1) 大学の人材養成について

A. 地域の発展に役立つ人材の養成を、第一に考えるべきだ

B. 地域を超えて活躍する人材の養成を、第一とするべきだ

AIに 費成 1
 ややAIに 費成 2
 ややBCに 費成 3
 BCに 費成 4

(2) 大学の教育について

A. 地域と交流して、実践的な教育の充実をはかるべきだ

B. 地域とかわりなく、大学独自の理念にたった教育をすべきだ

AIに 費成 1
 ややAIに 費成 2
 ややBCに 費成 3
 BCに 費成 4

(3) 大学の研究について

A. 地域との交流を持ちながら、新たな時代の学問の発展をはかるべきだ

B. 地域社会にとらわれることなく、普遍的な学問を発展させるべきだ

AIに 費成 1
 ややAIに 費成 2
 ややBCに 費成 3
 BCに 費成 4

(4) 大学の社会的サービスについて

A. 地域社会のニーズに応じて、大学は積極的にサービスを提供すべきだ

B. 地域社会へのサービスよりも、大学は教育・研究に専念すべきだ

AIに 費成 1
 ややAIに 費成 2
 ややBCに 費成 3
 BCに 費成 4

(6) 大学と企業との関係について

A. 企業との共同研究・受託研究や人的交流を、積極的におこなうべきだ

B. 営利が目的となる企業との、積極的な交流は避けるべきだ

AIに 費成 1
 ややAIに 費成 2
 ややBCに 費成 3
 BCに 費成 4

(6) 大学教員と地域社会との交流について

A. 学問的な発展のために、教員は、積極的に地域と交流すべきだ

B. 本来の教育・研究に力を注ぐためにも、教員は、地域との交流は極力控えるべきだ

AIに 費成 1
 ややAIに 費成 2
 ややBCに 費成 3
 BCに 費成 4

問12. 県内の国立大学のありかたを議論するときに、貴課は、どのような観点を重視すべきだと思いますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	とても重要である	やや重要である	あまり重要ではない
A. 低所得層への教育機会	1	2	3
B. 地域への教育機会の提供	1	2	3
C. 社会の指導的な人材の養成	1	2	3
D. 研究者の安定的供給	1	2	3
E. 高度な先端的研究の推進	1	2	3
F. 資金の得にくい分野の研究の推進	1	2	3
G. 教職員の公務員としての身分保障	1	2	3
H. 事務組織等の効率的な運営	1	2	3
I. 大学間での役割分担	1	2	3

IV. 最後に、貴課のことについてお聞きします。

問13. 貴課の名称：新潟県()部()課

※ 以下の質問は、貴課で掌握されている事業内容(平成10年度実績ベース)を念頭に、お差し支えない範囲でお答え下さい。

問14. 貴課には県内の高等教育機関との連携協力のための委員会や会議(産・官・学の協議会など)がありますか。

1. ある 2. ない

ある場合、大学との連絡調整にあたっては、組織の名称をお教え下さい。

()

問15. 貴課では、この1年間に、県内の国立大学と連携して一般市民対象の公開講座や企業向けの講座などを開催しましたか。

1. 開催した 2. 開催しなかった

開催した場合、下記に大学学部名、講座名、開催場所について3つまで記入し、合わせて貴課の経費負担の度合いについて、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

A) 大学主催、貴課後援の講座

大学・学部名	講座名	開催場所	貴課の経費負担
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし

B) 貴課主催、大学後援ないし協力の講座

大学・学部名	講座名	開催場所	貴課の経費負担
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし

問16. 貴課では、この1年間に、県内の私立大学と連携して一般市民対象の公開講座や企業向けの講座などを開催しましたか。

1. 開催した 2. 開催しなかった

↓

開催した場合、下記に大学学部名、講座名、開催場所について3つまで記入し、合わせて貴課の経費負担の割合について、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

A) 大学主催、貴課後援の講座

大学・学部名	講座名	開催場所	貴課の経費負担
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし

B) 貴課主催、大学後援ないし協力の講座

大学・学部名	講座名	開催場所	貴課の経費負担
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし

問17. 貴課は、この1年間に、大学教員に以下のような連携協力の依頼をしましたか。
 した場合、委員会名、委託大学名、テーマなどを3つまでお教え下さい。

A. 大学教員を審議会・研究会の委員に委嘱 1. した 2. しなかった

↓

委員会名 ()
 委員会名 ()
 委員会名 ()

B. 大学教員に研究の委託を 1. した 2. しなかった

↓

委託大学名: 大学 委託のテーマ ()
 委託大学名: 大学 委託のテーマ ()
 委託大学名: 大学 委託のテーマ ()

C. 大学教員に共同研究への参加を依頼 1. した 2. しなかった

↓

共同大学名: 大学 共同研究のテーマ ()
 共同大学名: 大学 共同研究のテーマ ()
 共同大学名: 大学 共同研究のテーマ ()

D. その他の連携協力の事例がありましたら3つまで記入して下さい。

()
 ()
 ()

最後に、県と大学との関係や交流のあり方について、貴課のご意見がありましたらお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。なお、本調査の分析結果については、後日結果の要約を送付させていただきます。

市町村と大学との交流に関する調査

調査の主旨とご協力をお願い

わたたくしども「大学・地域交流研究会」では、文部省科学研究費[基盤研究(A)]の交付を受け、大学と地域社会との交流について総合的な研究をすすめております。高等教育の大きな転換期にあたって、全国の大学はそれぞれに地域社会との交流の新しい形を模索しはじめています。なかでも、新潟県では、近年、公私協力型大学の設立や「にいがたまちづくり学会」の創設と相まって、地域及び産業界から大学との交流に対して多様な期待と要請が寄せられております。

その交流の一端を探るため、わたたくしどもはこれまで県内大学教員、及び県内有識者を対象とした調査を実施して参りました。しかし、多様な交流の実態を総合的に捉え、今後の方向を探るには、県内の市町村の関係者のご意見をうかがうことが不可欠と考え、このアンケート調査を企画しました。この調査では、「**市町村と大学との交流**」の現状や今後のあり方について、貴課のご意見をいただきたいと考えております。

調査は学術的な研究の一環として行うものであり、お寄せいただいたご意見は、すべて統計的に処理し、個々のデータが外部に公表されることはありません。ご多忙中、大変恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力下さるようお願い申し上げます。

回答は、**2月末日**までに、同封の封筒により、**切手を貼らずに**そのままお寄せ下さい。

<大学・地域交流研究会>

天野都夫(国立学校財務センター), 藤村正司(新潟大学), 小林雅之(放送大学), 吉田文(メディア教育開発センター), 溝上智恵子(長岡技術科学大学)

研究代表・天野都夫(国立学校財務センター教授)

〒261-0014 千葉県美浜区若葉2-12 Tel: 043-274-3801, Fax: 043-274-4032

事務局・吉田文(メディア教育開発センター助教授)

Tel: 043-298-3209, Fax: 043-298-3484, E-mail: aya@nime.ac.jp

<調査の問い合わせ>

藤村正司(新潟大学教育人間科学部助教授)
〒950-2181 新潟市五十嵐2の町8050番地

Tel: 025-262-7137, Fax: 025-262-7122, E-mail: fujimura@ed.niigata-u.ac.jp

1. はじめに、県内の大学と貴課との関わりについてお聞きします。

問1. 貴課では、業務内容について日常的に県内の大学教員に相談にのってもらおうことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

1. よくある 2. ときどきある 3. ほとんどない

問2. 貴課では、主にどのようなルートで大学教員に連携協力の依頼をしていますか。あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

1. 個人的にお願いする 2. 教授の推薦による 3. 大学の窓口で紹介してもらおう
4. その他(具体的に: _____)

問3. 貴課は、この1年間に、以下の目的で県内の国立大学の施設の活用を要望しましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけて下さい。

A. イベントの開催で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった
B. 施設開放で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった
C. 共同研究で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった

問4. 貴課は、この1年間に、以下の目的で県内の私立大学の施設の活用を要望しましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけて下さい。

A. イベントの開催で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった
B. 施設開放で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった
C. 共同研究で	1. 要望し、活用した	2. 要望したが、活用できなかった	3. 要望しなかった

問5. 貴課は、この1年間に、以下のような条件で、県内の大学から協力の要請を受けたことがありましたか。それぞれあてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	新潟大学から	長岡技術科学大学から	上越教育大学から	県内の私立大学から
A. シンポジウム・研究会・講義等の講師・パネラーとして	1	2	3	4
B. 大学内の各種委員会等の委員として	1	2	3	4
C. 専門的な知識や情報の提供	1	2	3	4
D. 研究助成などの資金の提供	1	2	3	4
E. 大学関係者が開催する会議・研究会への参加	1	2	3	4

II. 地域社会と県内の大学の関わりについてお聞きします。

問6. 県内の3つの国立大学は、地域的に(イ)どのような範囲に貢献している大学だと思われますか。また、(ロ)将来はどのような範囲への貢献を期待しますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	(イ) 現 状					(ロ) 将来のあり方						
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	分からない	もっと貢献すべき	現状のまま	あまり貢献しなくてよい	貢献しなくてよい	分からぬ		
(1) 新潟大学												
A. 貴課の所在する地域に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
B. 新潟県に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
C. 全国的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
D. 国際的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			

	(イ) 現 状					(ロ) 将来のあり方						
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	分からない	もっと貢献すべき	現状のまま	あまり貢献しなくてよい	貢献しなくてよい	分からぬ		
(2) 長岡技術科学大学												
A. 貴課の所在する地域に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
B. 新潟県に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
C. 全国的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
D. 国際的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			

(3) 上越教育大学

	(イ) 現 状					(ロ) 将来のあり方						
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	分からない	もっと貢献すべき	現状のまま	あまり貢献しなくてよい	貢献しなくてよい	分からぬ		
(3) 上越教育大学												
A. 貴課の所在する地域に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
B. 新潟県に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
C. 全国的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
D. 国際的に	1	2	3	4	5	1	2	3	4			

問7. 市町村と県内の大学とが交流を深めていく上で、大学・市町村・国の側によいような配置があるとお考えですか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	(イ) 国立大学の側にある降参					(ロ) 将来のあり方						
	おおいに貢献している	やや貢献している	あまり貢献していない	全く貢献していない	分からない	もっと貢献すべき	現状のまま	あまり貢献しなくてよい	貢献しなくてよい	分からぬ		
(1) 国立大学の側にある降参												
A. 大学に地域交流のビジョンが十分でない	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
B. 地域との交流をするためのノウハウが、大学の側にかけている	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
C. 教員は地域交流への関心が低く、その必要性がないと思っっている	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
D. 地域のニーズに応えるような研究が大学に少ない	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
E. 教員スタッフ、及び、教員の研究分野・研究課題が周知されていない	1	2	3	4	5	1	2	3	4			
F. 企業などから見て、大学は教員が高いと思われている	1	2	3	4	5	1	2	3	4			

問8. 貴課は、県内の国立大学との交流に関して、現行の制度に拘わらず、将来どのようなことを期待しておられますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	おおいに期待している	やや期待している	あまり期待しない	全く期待しない
A. 地域住民子弟の入学のための優待枠を設ける	1	2	3	4
B. 学生を企業や地方自治体などで実習させる制度を設ける	1	2	3	4
C. 地方自治体の資金を大学が受け入れらるような制度を設ける	1	2	3	4
D. 大学の施設を地域住民に広く開放する	1	2	3	4
E. 大学の情報を広く開示する	1	2	3	4
F. 地域代表が大学の運営に参加できるような制度を設ける	1	2	3	4

問9. 貴課は、県内の私立大学との交流に関して、現行の制度に拘わらず、将来どのようなことを期待しておられますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	おおいに期待している	やや期待している	あまり期待しない	全く期待しない
A. 地域住民子弟の入学のための優待枠を設ける	1	2	3	4
B. 学生を企業や地方自治体などで実習させる制度を設ける	1	2	3	4
C. 地方自治体の資金を大学が受け入れらるような制度を設ける	1	2	3	4
D. 大学の施設を地域住民に広く開放する	1	2	3	4
E. 大学の情報を広く開示する	1	2	3	4
F. 地域代表が大学の運営に参加できるような制度を設ける	1	2	3	4

(2) 私立大学の側にある障害

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	何ともいえない
A. 大学に地域交流のビジョンが十分でない	1	2	3	4
B. 地域との交流をするためのノウハウが、大学の側に欠けている	1	2	3	4
C. 教員は地域交流への関心が低く、その必要性がないと思っている	1	2	3	4
D. 地域のニーズに応えるような研究が大学に少ない	1	2	3	4
E. 教員スタッフ、及び、教員の研究分野・研究課題が周知されていない	1	2	3	4
F. 企業などから見て、大学は敷居が高いと思われている	1	2	3	4

(3) 市町村の側にある障害

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	何ともいえない
A. 地域の側に大学との交流のビジョンが十分ではない	1	2	3	4
B. 大学との交流をするためのノウハウが、地域の側に欠けている	1	2	3	4
C. 地域の側が、地元大学より中央の大学との交流を望んでいる	1	2	3	4
D. 大学の研究成果を活かせるようなネットワークが地域に少ない	1	2	3	4

(4) 国の側(文部省、自治省など)の障害

	そう思う	ある程度思う	そう思わない	何ともいえない
A. 地方の活性化・地域間格差の是正が十分ではない	1	2	3	4
B. 地方に見合った学部・学科の増設・新設が十分ではない	1	2	3	4
C. 委託研究により生ずる私的所有権の取り扱いについて、現行では委託側の権利が制限されている	1	2	3	4
D. 開かれた大学としての啓発・普及が、大学に対して十分ではない	1	2	3	4
E. 交流のための予算措置や促進のための施策や啓発・奨励が十分ではない	1	2	3	4

問10. 貴課は、次のような役割を主にどの大学に期待していますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけてください。

	主に新潟大学	主に長岡技術科学大学	主に上越教育大学	主に最寄りの私立大学	主に県外の大学	どれでもない
A. 県・市行政の審議会等の委員	1	2	5	4	5	6
B. 行政や企業との共同研究・開発	1	2	3	4	5	6
C. 地元企業への技術・情報サービス	1	2	3	4	5	6
D. 施設・設備・情報の市民への開放	1	2	3	4	5	6
E. 市民対象の公開講座等の開催	1	2	3	4	5	6
F. 職業人のための短期研修	1	2	3	4	5	6

Ⅲ. 次に、県内の国立大学の今後のあり方についてお聞きします。

問11. 県内の国立大学のあり方に関する以下それぞれのAとBの意見について、貴課のお考えに最も近い番号1つに○をつけてください。

(1) 大学の人材養成について

A. 地域の発展に役立つ人材の養成を、第一に考えるべきだ	AC 賛成 1	ややAC 賛成 2	ややBC 賛成 3	BC 賛成 4
B. 地域を超えて活躍する人材の養成を、第一とするべきだ				

(2) 大学の教育について

A. 地域と交流して、実践的な教育の充実をはかるべきだ	AC 賛成 1	ややAC 賛成 2	ややBC 賛成 3	BC 賛成 4
B. 地域とかわりなく、大学独自の理念にたった教育をすべきだ				

(3) 大学の研究について

A. 地域との交流を持ちながら、新たな時代の学問の発展をはかるべきだ	AC 賛成 1	ややAC 賛成 2	ややBC 賛成 3	BC 賛成 4
B. 地域社会にとらわれないことなく、普遍的な学問を発展させるべきだ				

(4) 大学の社会的サービスについて

A. 地域社会のニーズに応じて、大学は積極的にサービスを提供すべきだ	AC 賛成 1	ややAC 賛成 2	ややBC 賛成 3	BC 賛成 4
B. 地域社会へのサービスよりも、大学は教育・研究に専念すべきだ				

(5) 大学と企業との関係について

A. 企業との共同研究・受託研究や人的交流を、積極的に起こさうべきだ	AC 賛成 1	ややAC 賛成 2	ややBC 賛成 3	BC 賛成 4
B. 普利が目的となる企業との、積極的な交流は避けるべきだ				

(6) 大学教員と地域社会との交流について

A. 学問的な発展のために、教員は、積極的に地域と交流すべきだ	AC 賛成 1	ややAC 賛成 2	ややBC 賛成 3	BC 賛成 4
B. 本来の教育・研究に力を注ぐためにも、教員は、地域との交流は極力控えるべきだ				

問12. 県内の国立大学のありかたを議論するときに、貴課は、どのような観点重視すべきだと思いますか。以下のそれぞれについて、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。

	とても重要である	やや重要である	あまり重要ではない
A. 低所得層への教育機会	1	2	3
B. 地域への教育機会の提供	1	2	3
C. 社会の指導的な人材の養成	1	2	3
D. 研究者の安定的供給	1	2	3
E. 高度な先端的研究の推進	1	2	3
F. 資金の得にくい分野の研究の推進	1	2	3
G. 教職員の公務員としての身分保障	1	2	3
H. 事務組織等の効率的な運営	1	2	3
I. 大学間での役割分担	1	2	3

IV. 最後に、貴課のことについてお聞きします。

問13. 貴課の属する市町村名 () 市・町・村 () 課

※ 以下の質問は、貴課で掌握されている事業内容(平成10年度実績ベース)を念頭に、お差し支えない範囲でお答え下さい。

問14. 貴課には県内の高等教育機関との連携協力のための委員会や会議(産・官・学の協議会など)がありますか。

1. ある 2. ない

↓
ある場合、大学との連絡調整にあたっては、組織の名称をお教え下さい。

()

問15. 貴課では、この1年間に、県内の国立大学と連携して一般市民対象の公開講座や企業向けの講座などを開催しましたか。

1. 開催した 2. 開催しなかった

↓

開催した場合、下記に大学学部名、講座名、開催場所について3つまで記入し、合わせて貴課の経費負担の割合について、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

A) 大学主催、貴課後援の講座

大学・学部名	講座名	開催場所	貴課の経費負担
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし

B) 貴課主催、大学後援ないし協力の講座

大学・学部名	講座名	開催場所	貴課の経費負担
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし

問16. 貴課では、この1年間に、県内の私立大学と連携して一般市民対象の公開講座や企業向けの講座などを開催しましたか。

1. 開催した 2. 開催しなかった
↓

開催した場合、下記に大学学部名、講座名、開催場所について3つまで記入し、合わせて貴課の経費負担の割合について、あてはまるもの1つに○をつけて下さい。

A) 大学主催、貴課後援の講座

大学・学部名	講座名	開催場所	貴課の経費負担
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし

B) 貴課主催、大学後援ないし協力の講座

大学・学部名	講座名	開催場所	貴課の経費負担
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし
			全部・一部・なし

問17. 貴課は、この1年間に、大学教員に以下のような連携協力の依頼をいたしましたか。
した場合は、委員会名、委託大学名、テーマなどを8つまでお教え下さい。

A. 大学教員を審議会・研究会の委員に委嘱 1. した 2. しなかった
↓

委員会名 (_____)

委員会名 (_____)

委員会名 (_____)

B. 大学教員に研究の委託を 1. した 2. しなかった
↓

委託大学名: _____ 大学 委託のテーマ (_____)

委託大学名: _____ 大学 委託のテーマ (_____)

委託大学名: _____ 大学 委託のテーマ (_____)

C. 大学教員に共同研究への参加を依頼 1. した 2. しなかった
↓

共同大学名: _____ 大学 共同研究のテーマ (_____)

共同大学名: _____ 大学 共同研究のテーマ (_____)

共同大学名: _____ 大学 共同研究のテーマ (_____)

D. その他の連携協力の事例がありましたら8つまで記入して下さい。
(_____)
(_____)
(_____)

最後に、市町村と大学との関係や交流のあり方について、貴課のご意見がありましたらお聞かせください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。なお、本調査の分析結果については、後日結果の要約を送付させていただきますたく存じます。